

第1学年2組 「道徳」学習指導案

		指導者	畑岡 寿
主 題 名	寛容と謙虚な心	内容項目	2-(5)
ね ら い	それぞれの個性や立場を尊重し、寛容と謙虚な心をもって他者に接する態度を育てる。		
資 料 名	「学習机」(青木詠一)		
主題設定の理由	寛容と謙虚な心は、他の人々の個性や立場を尊重すると同時に、現在直面していることと素直に向き合うところから生まれる。お互いが気持ちよく、学校生活や社会生活を営むために、相手側の立場を考えた言動が、いかに大切であるかということを感じさせたい。		
展		開	
	学習活動(発問と予想される生徒の心の動き)	指導上の留意点	
導 入	○学習机や小学校入学時の思い出を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人に、初めて学習机を買ってもらった時の思い出を振り返らせせる。 	
展	○資料を読んで、新入社員の心の変化について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ポイントを確認しながら班ごとに朗読させる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お客さんから「オマエはなんてことをしてくれたんだ！」と怒られた時、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> たかが机を間違えただけじゃないか。 交換するのに、なんでこんなに怒られなきゃいけないんだ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 父親がどうしてそんなに怒ったのか、子どもの気持ちを踏まえて考えさせるとともに、その時の主人公の気持ちについても考えさせる。 父親に怒鳴られた直後と大枝さんに言われた後の気持ちの変化に焦点を当てて考えさせる。 	
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>そういう問題じゃないのよ」と大枝さんに言われて、どのようなことに気付いたのだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 甘かった。 謙虚な心がなかった。 傲慢な気持ちだった。 相手の立場に立って考えていなかった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 短い話の中に、立場の違う人の様々な気持ちが表されていることに気付かせる。 配布したプリントに各自の感想をまとめさせる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「本当によかったです」と言って涙を流した時、どのようなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これからは、相手の立場を考えて行動していこう。 謙虚な心をもって、人と接していこう。 </div> <p><班ごとに話し合う></p> <p>○人と接するとき、どんなことに気を付けていけば良いかについて話し合う。</p> <p>○文章や授業を通して感じたことをプリントにまとめる。</p>		
終 末	○相手の立場になって考えるということについて、考えを深めさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、自分の立場だけで行動し、発言していないかを考えさせる。 寛容・謙虚な心をもつためには、相手の立場をよく考えることが大切であることに気付かせる。 	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> 寛容・謙虚な心をもって他者と接するという心情が育ったか。 寛容・謙虚な心は、相手の立場を尊重するところから生まれることに気付いたか。 		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用意する。 		

<寛容と謙虚な心について >

1 楽しみにしていた机が違うものだったことで、父親と子供は、どんな気持ちになったと思いますか。また、どうして父親はそんなに怒ったのだと思いますか。

2 「そういう問題じゃないのよ」と大枝さんに言われて、どのようなことに気付いたのだと思いますか。

・父親に怒鳴られた直後の青木さんの気持ち

・大枝さんに言われて気付いたこと

☆大枝さんが、その言葉を発した理由や主人公に分かってもらいたい気持ちはどのようなものなのでしょうか。

3 相手の立場になって考えるとは、どういうことだと思いますか。

4 テキストや授業を通して感じたことを自由に書きなさい。

